

Pivotal Meeting Report

第 55 回日本医学教育学会大会 (The 55th Annual Meeting of the Japan Society for Medical Education)

テーマ：医療者教育の光と影、そして未来へ！

医学教育学分野／救急・災害医学分野 内田 康太郎

日本医学教育学会は昭和 44 年に設立され、今年で 55 年目を迎える歴史ある学会です。2600 余名の個人会員数もさることながら、82 のすべての医学部・医科大学が機関会員となっています。本学会は、医療に貢献できる医療専門職の育成のために、医学教育に関する研究の充実・発展ならびにその成果の普及を目的として活動しています。また、我が国の医学教育の向上、未来の医学教育を担うリーダー育成、研究活動と国際貢献の活性化などを推進しています。

本学会の学術大会である日本医学教育学会大会は、昭和 44 年に始まり、こちらも今年で 55 回目を迎えた伝統的な大会です。年に 1 回開催され、日本全国いろいろな地域で開催されています。本年は令和 5 年 7 月 28 日、29 日に「医療者教育の光と影、そして未来へ！ A paradigm shift in health professions education ; reflecting history to the bright future ahead」と題し、長崎県長崎市の出島メッセ長崎で開催されました。

本学会の特徴は、第 10 会場まである規模の大きさと、ワークショップの種類の多さです。体験・ハンズオンや参加者のディスカッションを多く取り入れたワークショップが今年は 30 企画もありました。毎年新しい教育手法のタネをたくさん見聞きすることができます。

海外からの招待講演が 4 セッションあり、日本・韓国・台湾合同のシンポジウムも開催されるなど、インターナショナルな学会でもあります。口演やポ

スター演題のテーマは、学生、初期研修、後期研修、生涯学習・キャリア教育、指導者育成、学習者支援、学習者評価など、卒前から卒後にわたって演題がありました。チーム医療・多職種連携教育、地域医療、国際化、OSCE などの具体的科目に関するものや、シミュレーション教育、アクティブラーニングなどの教育手法に関すること、オンライン学習・ICT など、コロナによって進んだ教育手法による演題もありました。

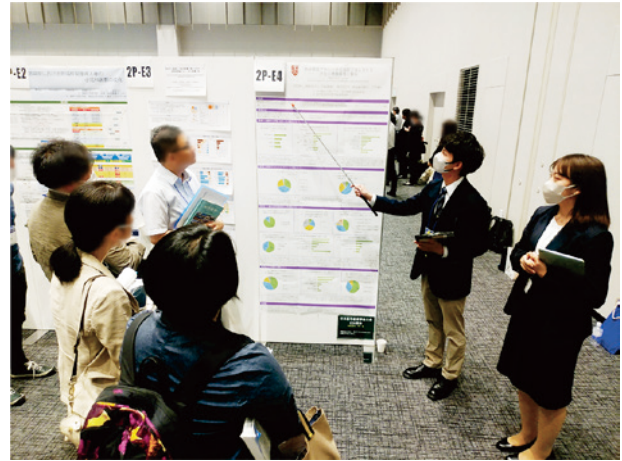
本学からは医学教育学分野 大滝純司 兼任教授、救急・災害医学分野 本間 宙 主任教授がシンポジウムの座長を、教育 IR センター 瀬戸山陽子 准教授が二つのワークショップの座長を担当されました。筆者は医学教育学分野 原田芳巳准教授、本学医学



学会写真①：シンポジウム座長をされている 救急・災害医学分野 本間主任教授

部学生3名と共同でポスター発表「医学部医学科の入学者選抜方法に対する学生の意識調査の報告」を行いました。

医学教育学会は医療者教育の学会で最も大きい学会の一つです。学会に参加している医療者は職種も分野も様々です。全診療科・全ての医療者に関連する学会と思いますので、一度ご参加してみてもいいのではないでしょうか。2024年は東京、2025年は秋田で開催予定です。



学会写真②：医学生との共同ポスター発表（右二人が本学医学生です）